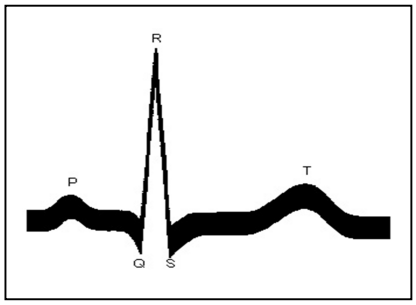
心電図

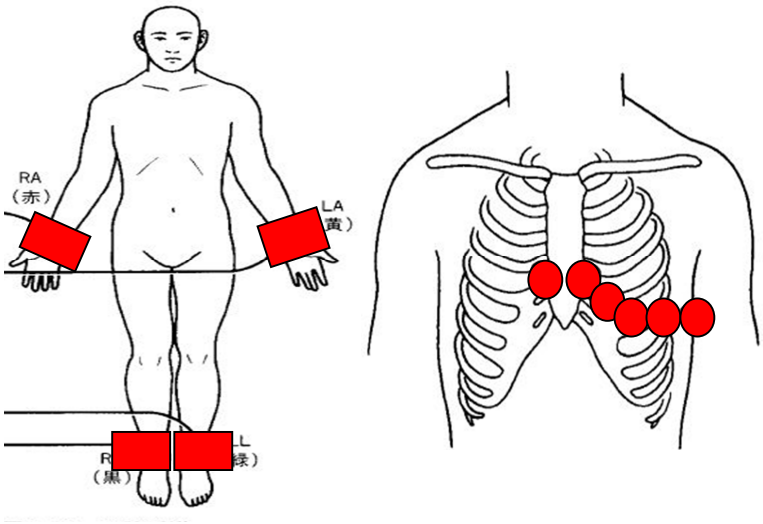
心電図とは？

心臓は筋肉で出来ていて、その筋肉の中を微弱な電気が流れて興奮し、拍動が起こります。この、心臓の電気的な活動の様子を、グラフの形に記録することで、心疾患の診断と治療に役立てることができるのです！



実際の検査

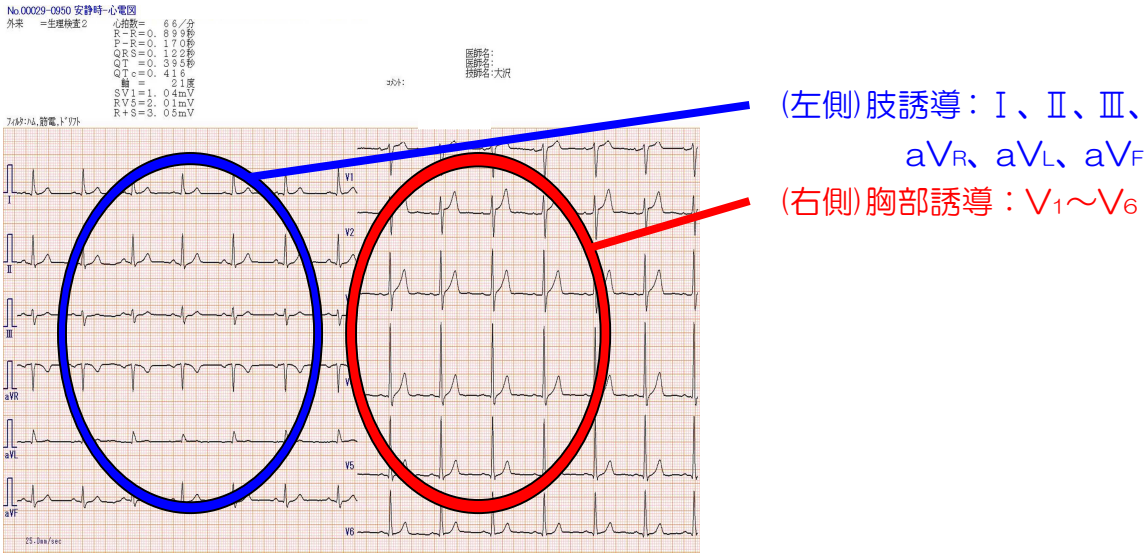
① 胸・手首・足首が出るようにし、靴を脱いでベッドに仰向けになります。（厚着の場合は服を脱いで頂くことがあります。）
② 下の絵の赤い場所に電極をつけて検査をします。
③ 力を抜いて動かないようにします。痛みを伴うことはありませんのでご安心下さい。
④ 検査は 2～3 分程度で終了します。



標準 12 誘導心電図

標準 12 誘導心電図は、最も一般的な心電図の記録法で、当院の心電図も、この 12 誘導心電図です。左右の手首・足首と胸に合計 10 個の電極を付けて記録します。

当院の心電図です。



何が分かるの？

心電図では、心臓が規則正しく脈を打っているかどうかがわかります。心臓のリズムが乱れる「不整脈」とよばれる病気の発見にはとても役立つ検査です。また、胸が痛くなる「心筋梗塞」や「狭心症発作」のときには、心臓内の電気的活動にも異常が生じますので、心電図が診断に役立ちます。

このように心電図は心臓の検査の中で最も基本的なもので非侵襲で繰り返し撮る事ができますが臨床的診断価値は高いです。